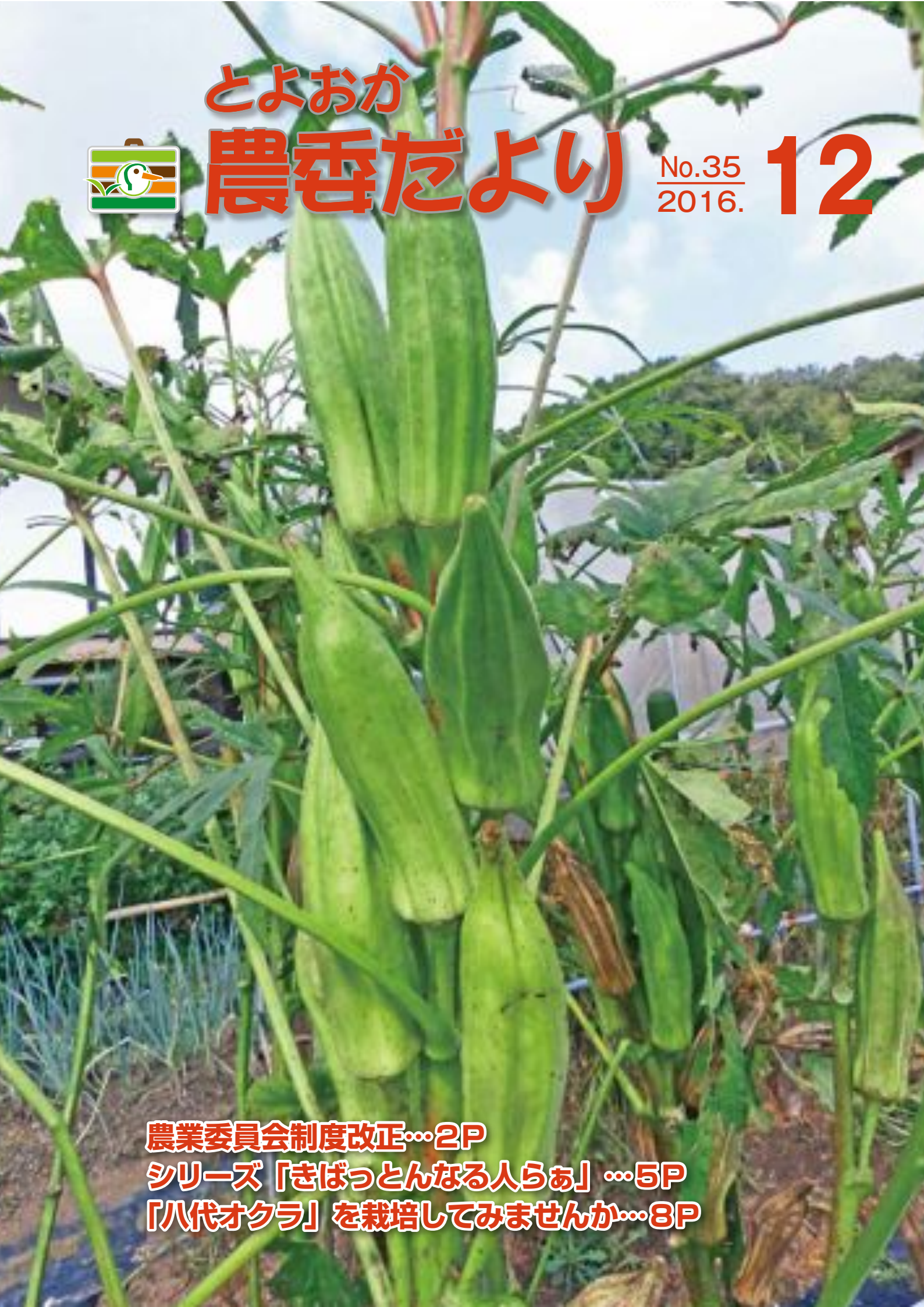
とよおか 農委だより

No.35
2016. 12



農業委員会制度改正…2P
シリーズ「きばっとんなる人らぁ」…5P
「八代オクラ」を栽培してみませんか…8P

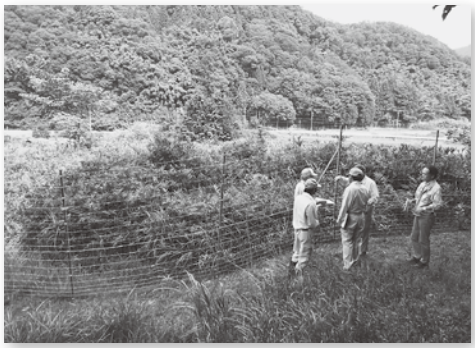
農業委員会の体制が変わります

「農地利用の最適化」をより良く果たせるようにするために

農業委員会等に関する法律の改正により農業委員会改革が行われ平成28年4月から、農業委員会の体制や役割が大きく変わりました。主な改正内容を紹介します。

1　農業委員会の新しい役割について

①担い手への農地利用の集積・集約化、②遊休農地の発生防止・解消、③農業への新規参入の促進など、農地等の利用の最適化の推進が、必須業務に位置付けられました。

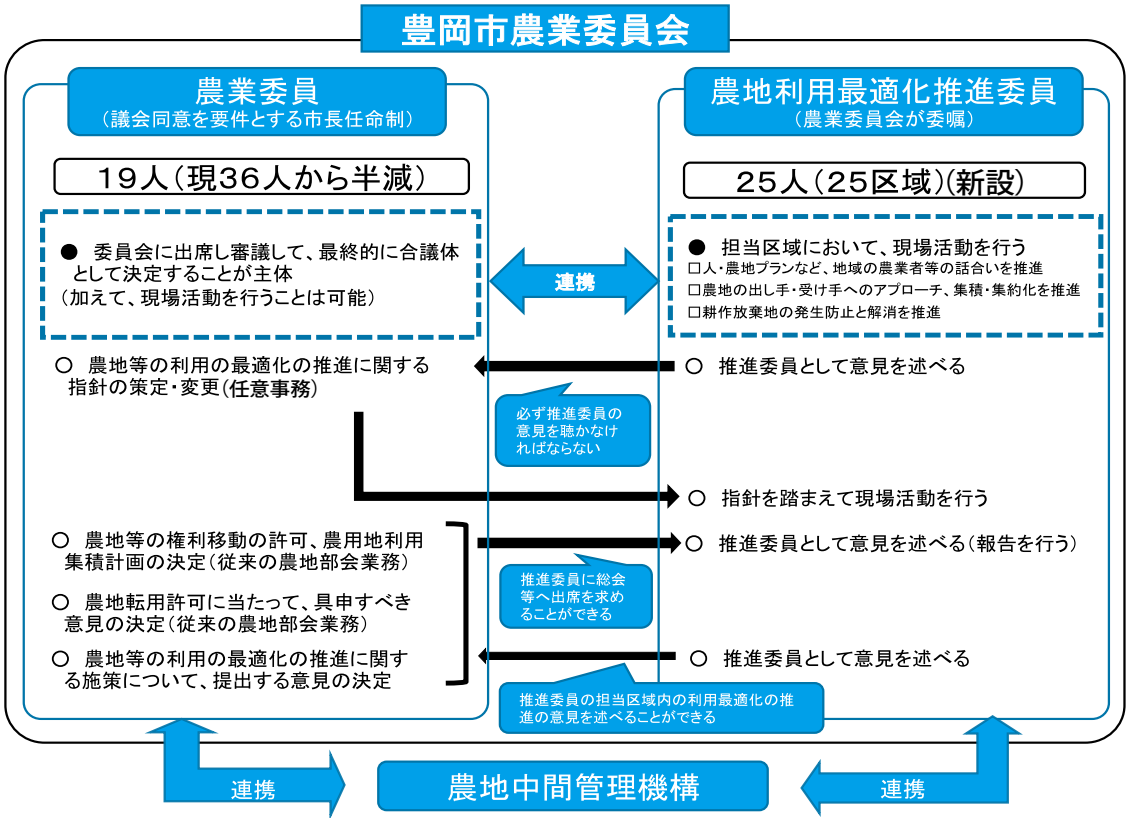


原野化した農地

2　農業委員等の新体制について

農業委員の選出方法が、これまでの公選制から、地域からの推薦・公募による選出方法に変わりました。あわせて農地利用最適化推進委員が新設され、平成29年4月21日から新制度に基づく体制がスタートします。

委員の人数と役割は、次のとおりです。



農地を彼らの将来に残していきます

3　委員等の決定について

農業委員は候補者を選定し、３月議会で同意を得て市長が任命します。

農地利用最適化推進委員は農業委員会が選定します。

新たな役割を担う農業委員会の活動に、ご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いします。

現在、農業委員・農地利用最適化推進委員の推薦・応募を募集しています。（募集期間：11月15日～12月15日）

詳しくは、市のホームページをご覧ください。

農業委員会活動報告その1 〔担い手育成支援推進活動〕

①「但馬まるごと感動市出張就農相談会」

とき：11月12日、13日
ところ：全但バス但馬ドーム

真剣な相談を受けています

豊岡市の各制度を説明しています

担い手育成支援推進委員会（永井辰正委員長）では、快晴に恵まれた「コウノトリ翔る但馬まるごと感動市」で初めて「出張就農相談会」を行いました。

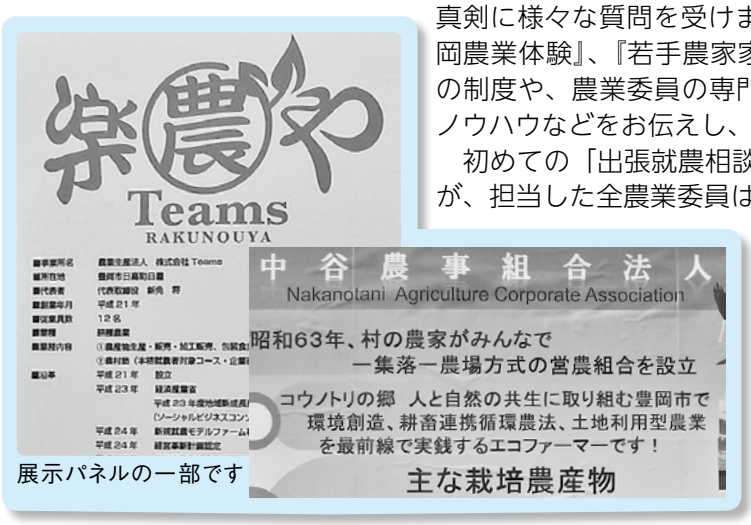
ブースの入り口には、ブドウ、サトイモ、大根などを飾り、また、協力いただいた市内の元気な農地所有適格法人や営農組合の紹介パネルを展示、農業委員と農地所有適格法人の社長さん方で相談体制を整えて、来場者を迎えました。

２日間で５名３所帯の就農相談と22件の営農相談を受けました。

就農相談では、大阪から来ていた若いご夫婦から「豊岡に近いうちに移住し、本気で就農を考えています。」と真剣に様々な質問を受けました。市が行っている『豊岡農業スクール』、『豊岡農業体験』、『若手農家家賃支援事業』などの制度や、農業委員の専門としている営農のノウハウなどをお伝えし、相談対応しました。

初めての「出張就農相談会」の試みでしたが、担当した全農業委員は、今後も続けたい、との感想を持ち『行動する農業委員会』としての姿を示すよい機会になったと自負しています。

（村岡峰男委員）



展示パネルの一部です

女性にも関心を持ってほしい…

②『豊岡農業スクール研修生・卒業生との意見交換会』

とき：8月10日
ところ：シルク温泉やまびこ

豊岡市農業委員会担い手育成支援推進委員会と豊岡農業スクール研修生・卒業生との意見交換会を行いました。

農業委員会からは、平田会長をはじめ担当委員、農業スクール生は、3期生の尾﨑雄太さん、卒業した元3期生の能勢明宏さん、4期生の三上裕也さん、そして、兵庫県議会の門間雄司議員にもご出席をいただき、短時間でしたが有意義な話し合いの場となりました。

まず、自己紹介の後、農業委員会の活動内容を紹介して、農業スクール生が日頃の様子を報告しました。

意見交換では、農業スクール生の卒業後の不安な気持ちや、迷いをお聞きしたほか、豊岡農業スクール制度については、補助金、研修内容についての意見や、経理事務や経営についての勉強会をして欲しい、卒業生も研修に参加できないかなどの要望など積極的な意見がありました。また、参加いただいた門間県議、農業委員から出た意見も合わせ、農業スクール生への助言、今後の対応策などを話し合いました。その後、会食をしながらリラックスした雰囲気で歓談し、終了となりました。

意見交換会で出た意見については、豊岡農業スクール制度の拡充のために要望をしていきます。

（北垣威司委員）

農業委員会活動報告その2 〔地産地消と食農教育推進活動〕

「大きなおいもが入ってたよ」サツマイモ感謝祭

とき：10月17日
ところ：港認定こども園

心配していた天候も、時折青空をのぞかせる収穫祭日和となりました。サツマイモ畑を目の前にして、はじけるような笑顔を見せる子どもたち。つるを引っ張る子、真っ先に土に手を入れサツマイモを探す子、みんな収穫の喜びを味わっているようです。

5月に植え付けたサツマイモは、獣害対策が功を奏し、無事この日を迎えることができました。

園に帰ってからの野菜についてのお話の中で、大原博幸委員が、里いもの大きな葉っぱに水を落とすと、丸い水玉になってはじいてしまう不思議な現象や、親イモの周りに小イモ、孫イモとたくさんついていることなどを、大きな里いも一株をかざしながらお話しすると19名の園児たちは食い入るように聞き入っていました。

やがて焼き芋のいい匂いが園庭からただよってくると、いよいよ楽しいおいも料理。子どもたちは小さな手に包丁を持って里いもを切ったり、芋づるの皮をむいたり団子を丸めたり。

子どもたち、先生方、保護者の方々、農業委員みんなで石焼き芋、芋づるのきんぴら、里いものきぬかつぎ、サツマイモ入りぜんざいを完成させました。

港認定こども園での「食農教育」は、今年で3年になりました。子どもたちが直接土に触れ、野菜の成長を観察しながらやがて収穫を迎える。調理にも加わりながら、おいしく食べる。さらに、保護者の方が参加することで家庭でも楽しかった収穫や料理が話題になることで、地産地消の取組みが進められることになればと思います。　（高尾利美委員）

◆なお、この日の様子は、全国農業新聞（10月28日号）に掲載されました。本誌7Pをご覧ください。

平成28年度遊休農地パトロール結果（10月末日現在）

農地パトロール後の集計数値（単位：㎡）

	27年度遊休農地	増　加	減　少	28年度遊休農地	左記の内、非農地とすべきもの
豊岡	58,770	2,603	4,567	56,806	0
城崎	40,724	0	469	40,255	0
竹野	183,624	0	0	183,624	0
日高	165,472	3,348	56,326	112,494	50,772
出石	177,920	38,511	30,684	185,747	3,745
但東	89,422	24,109	50,997	62,534	41,362
合計	715,932	68,571	143,043	641,460	95,879

※「増加」は新規と復活で、「減少」は解消したもの。

「遊休農地を解消するために」

市内全域の農地の調査を行い、遊休化した農地の所有者に対して、今後の利用についての意向調査や相談活動などを行っています。

来年度からは「農地利用最適化推進委員」を設置し、遊休農地解消を含めた農地利用の最適化を行っていくことを見据えてパトロールしました。

きばっとんなる人らぁ㉞

このコーナーでは、
地域で頑張る農家のみなさんを紹介します。

大豆の刈取りも兄弟でやっています

兄弟・家族力で喜びの農業を

豊岡市江本　掘名　孝弘さん（51歳）

『今は実家が専業農家だったことに感謝している』と話す掘名孝弘さんは、５年前サラリーマンから転職し、父文男さん、兄敏昭さんと共に大規模稲作農家として頑張っておられます。

転職先を検討していた時期に、兄から『一緒にやらないか』と誘われて、将来は農業をしてもいいと考えていたので、特に抵抗もなく、家族にも理解をしてもらい就農しました。

兄弟で仕事をしていると、どうしても口喧嘩が絶えないが『働かせてもらっていることに感謝して、また迷惑をかけないようにしなければと思っている』と語る孝弘さん。また、休みの日にゴルフへ行くのが唯一の趣味で、『ゴルフを通していろいろな人と出会いがあり、その付合いがうれしい』とも語る孝弘さんです。

掘名家の農業経営は、水稲21haでコウノトリ育む農法（無農薬栽培）を実践されており、大豆8ha、麦2ha、キャベツ20a、その他水稲育苗ハウスを利用して、トマト・ホウレンソウなども栽培するなど水稲を柱に大規模複合経営をされています。また、多くの研修生を受け入れて指導したり、農繁期には親戚からも応援を頼んだり、就農5年目ですが、誇りと喜びをもって取り組んでおられます。

取材の日には、「秋祭りまでに地主さんに新米を届けなければ」と、休む暇もない様子でしたが、兄弟で快く対応していただきました。

厳しい農業環境下ですが、前を向いて兄弟力・家族力で地域の手本となる経営を実践していかれると感じました。

（北垣威司委員）

集落営農を始めました

日高町知見　代表 中西　正博さん（59歳）

平成28年4月1日に設立された知見集落営農組合（豊岡市日高町知見）の代表者 中西 正博さんにお話を伺いました。

中西さんは、「以前から、農家の皆さんの高齢化と、水田の荒廃に心を痛めていましたが、効率のよい農業を目指して、昨年暮れに地域の多くの方から賛同をいただき、今年の1月から具体的な話し合いを進めて、ようやく設立することができました。

当組合の今年度の経営面積は約4.3haですが、今年の作業を見て安心していただいた方々からの依頼も受け、また、周辺集落からの委託も受けて、来年度の耕作面積は現時点で8haを超える見込みです。

今後は、まだ参加されていない農家に加入を推進するとともに、作業受託の面積も拡大しながら、地域の農地の総合的な利用を図る観点から、生産調整対策を適切に実施し、農作業の効率化に努めていきたいと考えています。

水稲栽培を中心に、役員とオペレーター合わせて12名で力を合わせて経営し、『安全でおいしいお米だ』と言ってもらえるように、化学肥料は極力使用しない減農薬栽培から無農薬栽培を目指します。

収穫したお米は、当集落の方々に購入していただくとともに、希望者には個別販売もしています。

将来の法人化に向けて、今年の農業経営の結果をしっかりと検証し、来年度以降に生かしていきたい」と、張り切っておられました。

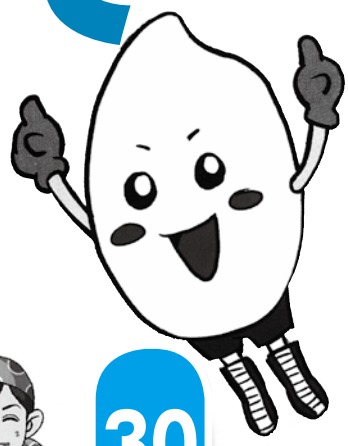
（中村勝美委員）

今日の農作業の段取りを協議中です

担い手積立年金

加入しましょう！

農業者年金で未来を拓く



20代

20代のメリットは、少ない保険料でも長期にわたって支払えるため、結局はかなりの額を積み立てられる点です。老後なんてまだまだ先と思うかもしれませんが、20代から農業者年金に加入しておくと、やがては大きな財産になります。30代、40代は何かとお金のかかる世代ですから「今のうち」ということもいえるのではないでしょうか。

30代

結婚をしているなら、パートナーの将来についてもきちんと考えることが必要でしょう。年間60日以上農業に従事しているなら、いろいろな点で有利な農業者年金に加入できます。また、35歳未満の認定農業者で青色申告者の場合、保険料の国庫補助の中でも、もっとも有利な条件となる半額の補助（2万円のうちの1万円）を受けることができます。

ライフステージによって支払額を変えてみては？

農業者年金は、経営や家計によって保険料を見直したり、脱退や再加入をしたりすることが可能です。農業で働く人のライフステージに寄り添った年金です。

40代

子育て真っ最中の家庭では、家計が大変かもしれません。農業者年金は保険料を2万円から1,000円単位で設定でき、いつでも保険料の見直しができます。そのときの経営状況に合わせることが可能です。経営が波に乗っているなら、高額の保険料を設定し、この時代に老後の備えを固めておくというのも手です。

50代

経営が安定期に入ると、頭を悩ますのは税金のことではないでしょうか。保険料が全額社会保険料控除の対象となる農業者年金は、民間の年金保険に比べるとはるかに有利な節税効果を見込めます。

詳しい内容や加入のお申し込みは農業委員会または農業協同組合へ

情報ひろば

人事異動

農業委員会事務局職員の異動

平成28年10月1日の人事異動に伴い、職員の異動がありました。

【転出】
局長　上野 吉弘（用地課参事へ）

【任命】
参事　宮﨑 雅巳（農業委員会事務局長へ）

【転入】
主任　山口 淳也（社会福祉課から）

無料農家相談

農家相談日をご利用ください

農業委員会では、農地の貸し借り、売買、転用、農地の有効利用など、農業に関する相談日を毎月1回設けていますので、ご利用ください。

なお、ご相談の際は、あらかじめ事務局までご連絡ください。

《これからの農家相談日》

月　日	時　間	場　所
1月6日（金）	いずれも午後1時30分から午後4時まで	農業委員会事務局 豊岡市中央町2番4号 ☎21−9021
2月6日（月）		
3月6日（月）		
4月5日（水）		

全国農業新聞を読みましょう！
申込みは、市農業委員会へ

園児たちの小さな手が大きなサツマイモ掘る

豊岡市認定こども園で「収穫感謝祭」

元気な園児らとサツマイモを収穫する農業委員

農業委員会 獣害対策「しっかり」

「食」通じ子どもに「農」を伝える

全国農業新聞

NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

2016年（平成28年）10月28日 金曜日 月4回金曜日発行

農地を活かし 担い手を応援する 農業委員会ネットワーク機構

発行所 全国農業会議所

〒102-0084 東京都千代田区二番町9の8 中央労働基準協会ビル ☎03-6910-1130

©全国農業会議所2016

ホームページhttp://www.nca.or.jp/shinbun

お申し込みは、お近くの農業委員会へどうぞ

STOP ストップ 鳥獣害 72

隊活動と柵設置で被害減少

後継者の育成が課題

冬季限定プラン　期間限定 平成28年11月7日（月）～平成29年3月31日（金）

ご予約・お問い合わせ

☎0796-32-2921

http://www.asagiriso.com/

JA共済 城崎温泉 あさぎり荘

2016 10/27 1F朝食会場 & 会議室 リニューアルOPEN!

NEW 約60種類の朝食バイキングが充実!! NEW 会議に最適！大画面プロジェクター新設!!

表紙について

・伝統野菜の普及に向けて「農業委員会の取組み」

八代オクラ畑で

一般のオクラとの比較

日高町八代地区には、古くから育てられ守られてきた伝統野菜**八代オクラ**があります。

特徴はなんといってもその大きさ。直径3センチメートル、長さが15センチメートルほどあります。

近年では生産者の数が減り、数軒の農家が栽培しています。

豊岡市農業委員会では、この**八代オクラ**を広く普及すべく新たな取組みをスタートしました。

今年は平田会長以下9名の委員が、数少ない生産者の一人吉岡亮さんから種の提供を受けて栽培に挑戦しました。旧豊岡市、日高町、出石町、但東町と広範囲で作付けし生育状況を確認しました。結果、どの地域においてもおおむね良好だったようです。

収穫を終えた10月に栽培に挑戦した委員による反省会が開かれました。その時の意見の一部を紹介します。

・栽培は手間がかからず比較的容易だった。
・食感は毛が柔らかくて食べやすい。肉厚で粘りが強くもちもちでジューシー。
・一般のオクラと**八代オクラ**を同じように調理して孫に食べ比べをさせたところ、**八代オクラ**に軍配があがった。
・成長しだすとすぐ大きく硬くなるので気をつけること。　等々

このように評判は上々で、この取組みがきっかけとなり、この**八代オクラ**が豊岡の特産品に育ってくれるとありがたいものだ、との声が上がっていました。

（齋藤善久委員）

反省会の様子

♠**八代オクラ**に興味を持たれた方は栽培に挑戦してみませんか。
農業委員会では今年収穫したオクラの種を確保しています。必要な方にはお分けいたします。（数に限りがあります。）
（お問合せ先：豊岡市農業委員会事務局　TEL 21-9021）

編集後記

◇今年の稲作は、夏の高温や秋の長雨により苦労の多い年でした。また、日本各地で大型台風や集中豪雨の襲来に遭い、農作物への被害も深刻です。まるで日本が亜熱帯地域になってしまったかのように錯覚します。

◇この異常気象には地球温暖化が深く関わっているといわれており、日本のみならず世界中の国々が深刻な事態に直面しています。

◇この度、地球温暖化対策の新たな枠組みであるパリ協定が多くの国の批准を経て発効しました。温暖化や気候変動対策待ったなし！とする世界各国の危機意識の表れでしょう。省エネ推進や脱炭素化社会への転換が急務です。

◇一刻も早く温暖化にストップをかけ、四季のある美しい日本が永遠に続くことを願ってやみません。

（Y・S）

農業委員会だより第35号は私たちが担当しました

本格手打ち
殿さんそば
〒669-5372 兵庫県豊岡市日高町殿810
TEL.0796-44-1888 FAX.0796-44-1511
■営業時間：午前11時～午後5時　■定休日：毎週火曜日
http://www.tonosansoba.com/

地元で育てた蕎麦粉を10割使用
「ひょうご安心ブランド」です
「安全で安心できる農産物を食べたい」という消費者の声に答えるとともに、
「県民の皆さんに地元兵庫の安全・安心な農産物を届けたい」、「人と環境にやさしい農産物をつくる取り組みを正しく伝えたい」という生産者の思いから平成十三年に誕生しました。

「コウノトリの舞」ブランドです
「ひょうご安心ブランド」の認定基準に加え、豊岡市が独自に定めた要件を満たした、
より安心・安全な農産物をブランド化したものです。

発行日／平成28年(2016)12月10日(年間3回発行)
通巻35号　編集発行／豊岡市農業委員会
〒668-8666兵庫県豊岡市中央町2番4号豊岡市役所2階
☎0796-21-9021　FAX0796-24-8114(2F共通)
「農業委員会だより」と「農業共済だより」は共同印刷により同一日発行としています

本紙掲載の写真・イメージフォト・イラストは許諾を得て掲載しており、無断転載を禁じます。